

# 飯塚市学校図書館協議会司書部会 班研究による研修

飯塚市学校図書館協議会 令和3年度司書部会長 椋本小学校司書 吉住

令和4年2月

飯塚市学校図書館協議会司書部会から、班研究による研修について報告させていただきます。

## 1. 班研究の動機・目的

飯塚市学校図書館協議会司書部では、毎年テーマを決めての研修に取り組んできた。しかし、1年間の研修会の回数には限りがあり、学校図書館で生じる実務についての協議などもあり、研修テーマの実践や改善を行い、共通理解につなげていくことはなかなか難しい状況だった。

そこで、学校司書としての資質向上を図ることを考え、司書部会での研修を班研究という形にし、学校司書の業務毎に班という形に分け、司書が深く学びたい事を研究し、その成果を共有することで、飯塚市学校司書の全体的な資質向上と合理的な学校図書館運営に結び付けようと考えた。

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市内学校司書が集まって研修することができないため、研修の機会を途絶えさせることなく、専門性を高め、その成果を還元できるような研修の形として、通信を利用し個人で研究していく「班研究」を進めることとした。

### 目的

- ・ 研究を行うことによる、学校司書としての資質の向上。
- ・ 各班で研究を行い、それを全体に還元し、合理的な司書業務につなげる。
- ・ 学校司書が行ってきた業務の明文化・実践の蓄積をはかる。(入館者統計テンプレートなど)

令和2年度の研究班では、学校司書業務を6分野（学校図書館運営班・図書館環境整備班・学習センター班・情報センター班・読書センター班・教科書事務班）に分け、所属する班と係を希望し、研究したいテーマを決めるようにした。飯塚市では教科書事務を司書が担っているため、実務で必要とされる教科書事務係を設定している。班研究全体の統括は司書部役員が行い、各班には班長を置く形を取り、研修はメール、市内共有フォルダ、電話等を活用した通信による研修とした。

### 令和2年度の成果

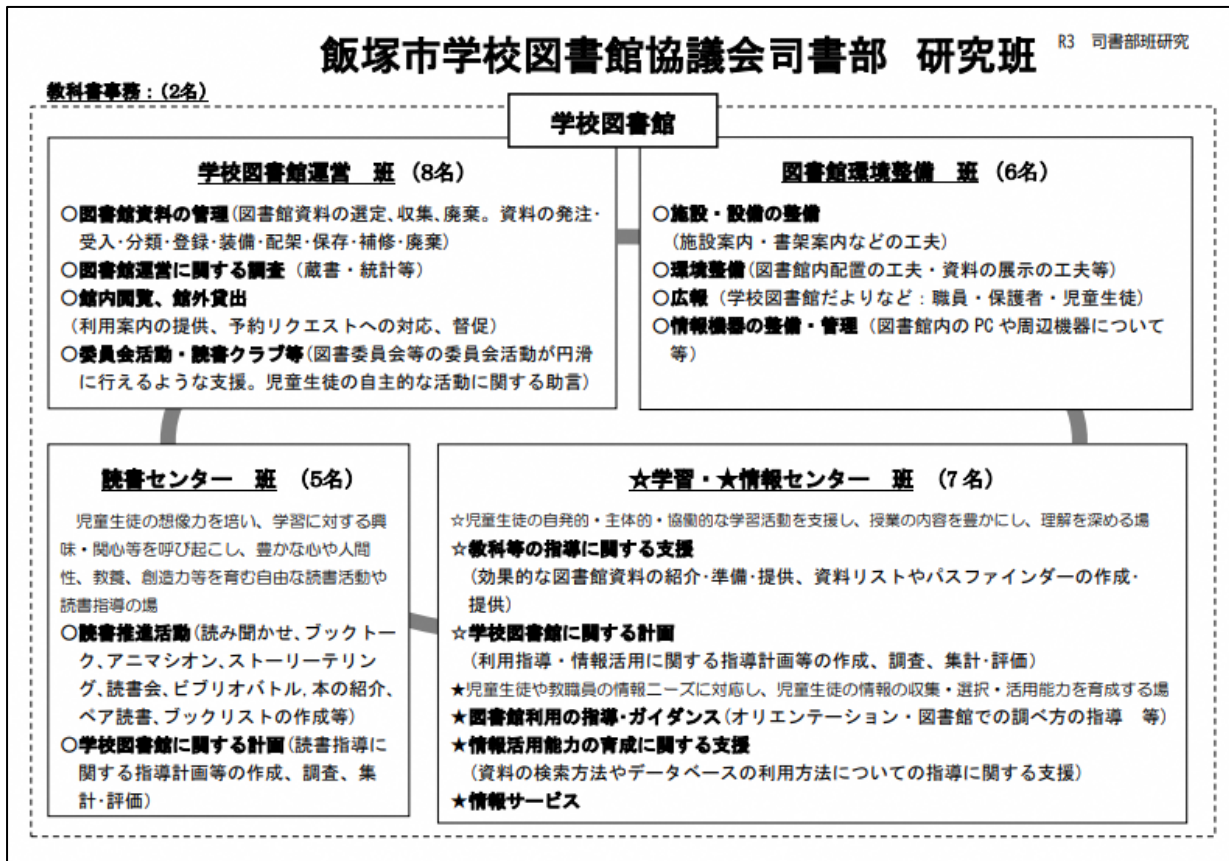
- 直接集まれない状況においても、通信等を活用した研修の形式を作ることができた。
- 司書としての専門性を高める課題をそれぞれが見つけ、取り組むことができた。
- 図書館システムのアップデートなどの記録を集約することで、各司書の負担が軽減した。

### 令和2年度の課題

- より専門性の高い個別研究につなげ、研究成果の精度を高める必要がある。
- 研究を実践し、図書館担当教諭と連携し、実務で活かせるように取り組む必要がある。
- 係や班の枠組みを超えてうまく連携し、より活発な学校図書館の活動を行う。

## 2. 令和3年度 班研究

令和2年度の成果と課題を受け、令和3年度も引き続き班研究を行った。変更点としては、学習センター班・情報センター班は活動内容が入り組んでいるため「学習・情報センター」と1つにした。



6月～7月	全校司書に説明・要望調査 班、係、テーマ 決定 研究スタート
8月～10月	各自研究を進める 班長が適宜進捗状況を確認 研究員の意見等吸い上げ
11月	各自報告書・記録用紙・準備・一時提出
12月	班長が班員の研究のまとめを集約 班員で共有 各研究をチェックし、感想や改善点など意見交換
1月	各自で最終稿を作成 意見交換を元に、研究の見直し・修正を行う 最終稿 提出
2月	研究成果を、整理・保管

**研究班スケジュール**

研究は令和2年度に設定したスケジュールに沿って行った。  
まず、班、係の要望調査後、それぞれがテーマを決定し、各自で研究を開始した。

- 〈研究で具体的に行うこと〉
- 根拠となる文献・確かな情報 (インターネットなど) を集め、調べ、考察し、記録する。
  - 計画を立て、研究を実践し、その後検証・客観的に評価、改善点を見つける。
  - 司書業務の実務を行う係は、実務を担当し、記録し、またよりよい方法を見つけるなどの工夫をして、深める研究をする。
  - 1年を通して各自が設定したテーマのもとに研究を行い、レポートなどの形でまとめる。

\*係が複数人の場合には、相互に意見交換してもよいこととし、計画・実行、研究の過程や根拠となる考え方・自分の考察は、後でたどれるよう研究記録用紙に記録するようにした。

## 令和3年度の研究のテーマ一覧

班	係	研究テーマ
①学校図書館運営	委員会活動	魅力ある図書館イベント
	委員会活動	主体的な取組につなげる委員会活動
	運営に関する調査	入館者数調査テンプレート作成
	図書館資料の管理	図書館資料選定の基準について
	委員会活動	委員会活動で読書カアップ
	館内閲覧 館内貸出	図書館利用案内の作成 (小学生向 中学生向)
	運営に関する調査	入館者数調査テンプレート作成
②図書館環境整備	環境整備	別置や展示方法を考える
	環境整備	本と読者を結びつける読書環境の整備
	施設・設備係	施設・設備基準を考慮した館内案内図
	広報	ポップによる本の紹介
	環境整備	利用しやすい館内レイアウト(安全面など)
	環境整備	館内レイアウト(換気を考える)
	広報	図書日よりイベントの相乗効果
③読書センター	読書推進活動	ブックトークに使える図書リストの作成
	読書推進活動	SDGsブックリストの作成
	読書推進活動	SDGsブックリストの作成
	読書推進活動	中学校国語科単元「読書を楽しむ」と関連付けた読書推進活動
④学習センター・情報センター	情報活用能力の育成に関する支援	調べ学習の支援 (Lフレックスやインターネットの活用)
	情報活用能力の育成に関する支援	調べ学習への支援
	情報活用能力の育成に関する支援	学校司書が活用できるデータベースについて
	図書館の利用・指導のガイダンス	一人で調べ学習ができるように。
	教科等の指導に関する支援	小学校3,4,5,6年対象:教科単元をテーマにしたパスファインダーの作成
	教科等の指導に関する支援	教科別の資料リスト作成
	教科等の指導に関する支援	授業に関連したパスファインダーの作成

### ① 研究報告書または実践・実務報告書

1年間行った研究をまとめたもの。  
実務を伴う係や実践を行った場合は、実践・実務報告書それ以外の研究をしている係は研究報告書を作成する。

ここでは、学校図書館業務の実務として実践したので、実践・実務報告書を作成。

パスファインダーを活用し、図書館資料を利用して自ら学ぶ子どもを育てることを目的として計画。小学校3年生以上を対象に、教科単元に合わせたパスファインダーを作成し、対象学年の担任教師にパスファインダーの見本と説明が書かれた紙を配布して活用を推進。

児童にパスファインダーを配布、活用してもらい、そのアンケートを実施。

アンケート結果を反映して、学習・情報センター機能の向上を図った。

### 3. 班研究からの実践

令和3年度は、実践に繋がる研究を推進した。

その中で、学習・情報センター班：教科等の指導に関する支援係が、

「小学校3.4.5.6年対象：教科単元をテーマにしたパスファインダーの作成」

というテーマで研究し、実践した。

以下、提出された研究のまとめ4文書により、学校司書による研究の実践を報告する。

研究班名	学習・情報センター	係名	教科等の指導に関する支援
内容	小学校3.4.5.6年対象:教科単元をテーマにした、パスファインダーの作成。		
【動機・目的】	□パスファインダー(調べ方の道案内)を活用し、図書館資料を利用して、自ら学ぶ子どもを育てる。調べ方のコツを教え、参考文献の書き方などレポートの書き方を意識づけていく。		
【詳細】	□パスファインダーの作成・周知・活用推進・提供。図書館資料の提供。及び、調べ学習後のアンケートを行った。		
【結果・まとめ】	・アンケートの結果から/児童がパスファインダーを活用して自ら本やファイル資料を探し出し、インターネットで調べるときにも情報源として使ってくれていることがわかった。また、記載されている「調べ方のコツ」(参考文献の書き方やインターネットの正しい情報源の探し方など)も読んで参考になっている様子がうかがえる。・聞き取りから/児童が本を探している間の会話・様子から、図書館内の本棚配置を理解し、本を探していることも確認できた。		
【反省点・改善点】	□【成果】パスファインダーを活用して、自ら調べ学習を進められる児童が多かった。【課題】アンケート結果から/インターネット情報源の利用ばかりで、図書館資料での調べ学習ができていない児童もいた。また、図書館に来館して調べ学習を行う時間の確保も課題である。		
【備考・引継ぎ事項】	パスファインダーは、毎年最新の情報を確認し更新する。		
【作成した資料】	・パスファインダー「環境問題(について報告しよう)」(5年国語)。 ・「図書館調べ学習アンケート」。		

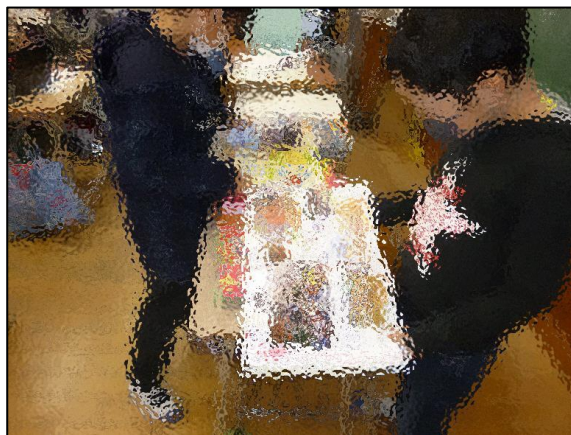


写真:調べ学習でのパスファインダー活用の様子



## ② 研究記録用紙

研究の過程や根拠となる考え方がたどれるよう各自で記録する研究記録用紙。

パスファインダーの作成過程を、使用した参考資料とともに後からたどれるよう記録。

作業したことや調べた内容、覚え書きや確認・連絡事項などを記録できる。

この研究記録用紙によって、どのように考え、どのような資料を使って研究したかを確認することができる。

参考資料だけでなく、インターネット情報源なども検索日時とともに記録する。

学習センター			
○教科等の指導に関する支援(効果的な図書資料の紹介・準備・提供、資料リストやパスファインダーの作成・提供)			
担当: 吉住 (採小)	作業日: R3.5.11		
研究テーマ: 小学校 3.4.5.6年対象:教科単元をテーマにしたパスファインダーの作成			
作業(検討・確認)内容:			
①参考資料を読み、パスファインダーの構成・載せる内容等を検討。 2016年に飯塚市立司書部研修で作成したパスファインダーや下記参考資料を読み、形・内容を検討。			
②本校の教育指導計画を確認し、パスファインダーの作成対象となりそうな教科単元を検討。 その数、国語・社会等の教科書で教科単元の内容を確認し、改めてパスファインダーに載せる内容を検討。 1学期にパスファインダーが必要とされそうな教科単元を検討。 その後、教科書を確認して、「調べ方のコツ」等必要とされる内容を検討。			
③パスファインダーを作成。 自校蔵書・登録外資料から、パスファインダーに載せる資料を選定。 インターネット情報源については、作成元が確かなこと・最新の情報であることに留意して載せる。			
参考資料:			
著者名	書名	出版社	出版年
赤木 かん子	改訂版 調べ学習の基礎の基礎	ポプラ社	2011.2
赤木 かん子	しらべろ力をそだてる授業	ポプラ社	2007.2
赤木 かん子	本で調べて、ほうこくしよう	ポプラ社	2011.1
赤木 かん子	学校図書館のつかい方	光村図書出版	2012.5
山本 菜苑	調べ学習ナビ 理科編	理論社	2015.4
山本 菜苑	調べ学習ナビ 社会科編	理論社	2015.5
全国学校図書館協議会	パスファインダーを作ろう	全国学校図書館協議会	2005.3
全国学校図書館協議会	学校図書館学びかた指導のワークシート	全国学校図書館協議会	2007.7
*各学年の、パスファインダーが必要とされそうな単元が載った教科書			
《メモ》 どのように実践すればよいか、優良実践校の取り組みなどをインターネットなどで確認しておく。			
確認・連絡事項: 同じ係内の先生と連絡を取り合い、お互いの作業などについて確認する。 より合理的に、より活用しやすいパスファインダーの作成を目指す。			

## ③ 研究成果

1年間行った各自の研究の成果  
(レポート・データ等)  
パスファインダー: 小学校 5 年国語教科単元  
「環境問題について報告しよう」

写真:パスファインダー活用後  
児童に行った  
「図書館調べ学習アンケート」  
より抜粋

としましんぶん がくしょう  
図書館調べ学習 アンケート  
R3.6 採小小学校図書館(学習センター)

あなたの学年と、目的をおしえてください。  
5年 かんきょう問題調べ

あなたの調べたテーマには、どんな本が役に立ちましたか?  
オゾン層

パスファインダー(調べ方の提案)は調べ方や調べるときに使える本がのついでに使ってどうでしたか?感想を書いてください。  
さかし方がのいて便利でとてもよかったです。

図書館で、または図書館の本を使って調べて、調べたことがあれば書いてください。  
ないです。

分類	書名	発行年	出版年	備考
46	『ずかん海外を視察する日本と世界の生き物』	旺文社	2017	
51	江戸のくらしから学ぶ『もったいない』1~3	ポプラ社	2008年	シリーズ
51	『ごみゼロ大作戦! めざせ! Rの達人』1~6	ポプラ社	2017年	シリーズ
51	『英語で地球をわくわく探検! ゴミを減らす Reduce!』	リワーチ出版	2020年	
51	『今、世界はあぶないのか? 地球を守る』	評論社	2020年	
51	『地球環境のためにわたしたちができること』	ポプラ社	2000年	シリーズ
51	『地球をまもるみんなの環境学習実践集』	岩崎書店	2001年	シリーズ
51	『これはたいへん! ゴミの島』1~8	文研出版	1997年	シリーズ
51	『わたしたちにもできるリサイクル』1~4	学研	1995年	シリーズ
51	『地球の環境問題シリーズ4 わたしたちの水があぶない!』	ポプラ社	1999年	
51	『地球の環境問題シリーズ6 フロンガスがオゾン層をこぼす』	ポプラ社	1999年	

3. 本以外の資料も見てみよう! 採小小図書館にあります。聞いてみて下さい。  
・「地球温暖化ってなあに?」(環境省地球環境局)  
・「家庭ごみの分け方・出し方」ごみ出しに関するパンフレット(飯塚市HPより)  
・「よごれた水きれいにするしくみ」(飯塚市HPより)  
・「外来生物について楽しく学ぼう」(茨城県環境局自然環境部計画課)

4. インターネットで調べてみよう!  
・全国地球温暖化防止活動推進センター HP (地球温暖化について)  
https://www.jocca.or.jp/  
・飯塚市HP (ゴミの分け方・出し方、ごみ袋・リサイクルについて)  
http://www.city.fuzuka.lg.jp/kurashi/gomi/index.html  
・小学生のための環境リサイクル学習ホームページ (ゴミについて)  
http://www.cjc.or.jp/j-school/index.html  
・一般社団法人環境学習推進委員会 廃棄・リサイクル促進センター  
http://www.cjc.or.jp/j-school/index.html  
・「しるべからず外来生物、外国からやってきた生き物たち」環境省 (外来種について)  
http://www.env.go.jp/nature/intro/kids/index.html (2021年5月11日閲覧)

★調べ方のコツ★ インターネットで正しい情報を探そう  
※いくつかの情報(ホームページなど)を確認する。  
※その情報について何か調べたいことがあったとき、調べることが出来る本や資料を探してみよう。

パスファインダー ~調べ方の案内~ 探しているキーワードについての調べ方や資料を紹介しています  
採小小学校図書館 令和3年5月11日

「環境問題について報告しよう」(5年国語)

手がかりとなる キーワード  
・地球温暖化 ・ごみの減量とリサイクル ・河川の水質と美化 ・大気おせん ・外来種

調べるときに大切なこと! ※一つの情報源だけを信用しないで、必ず二つ以上の資料を調べよう。

1. まずは、百科事典や図鑑で調べてみよう! 参考資料のコーナーを見てみよう  
手がかりとなるキーワードについて、百科事典や図鑑で調べてみよう。

分類	書名	発行年	出版年	備考
03	『総合百科事典ポプラディア 新訂版』	ポプラ社	2011	百科事典
05	『朝日ジュニア学習年鑑』	朝日新聞出版	2020	年鑑
46	『さくら生物多様性』	PHP	2020	図鑑
51	『21世紀子ども百科 地球環境編』	小学館	2004	事典
51	『よく知って減らそう! ごみの大研究』	PHP研究所	2011	事典

★調べ方のコツ★ 裏付を見て、参考文献を書こう  
※資料を使って調べたら、その裏付を見て、参考文献を書いておきましょう。  
裏付には、読んでその本について何か調べたいことがあったとき、どこで調べたかや誰が書いてあるかが書かれています。本の裏付には、本の著者が書いてあるところがあったら、そこが裏付です。  
参考文献は、自分がそのテーマを調べるのに使った本や資料の著者や書名のことです。  
「参考文献の書き方」  
『 著者(姓・名) 著者名、発行年、出版年、ページ数』 を書きます。

2. 本でよく調べてみよう!  
百科事典や図鑑のほかにも、「環境問題」に関する本があります。  
ラベルの番号が 46 や 51 で始まる本棚のところまでさがしてみよう。

#### ④ 研究自己チェックリスト

研究成果を市内学校図書館で共有し、活用を図っていくために著作権へのしっかりとした配慮を行う。各自で研究をチェックし、飯塚市学校図書館協議会司書部として説明責任を果たせるように取り組んでいる。

- ◇ 根拠となる文献・確かな情報を元に研究を進めているか。
- ◇ 根拠となる考え方をたどれるよう、きちんと記録されているか。
- ◇ 実践記録がある場合、わかりやすく整理されているか。
- ◇ 個人の観点・幅広い観点のどちらも使い、偏りなく普遍的な研究を目指しているか。など。

R3 司書部研究

飯塚市学校図書館協議会司書部における **研究 自己チェックリスト**

所属学校名( 飯塚市立株本小学校 )  
担当者名( 西住 歩 )  
研究テーマ(小学校3,4,5,6年対象：教科単元をテーマにしたバスフラインダーの作成)  
確認日：令和3年8月25日

**三段階評価 (○：行えている・△：大体行えている・×：行えていない)**

でチェックをお願いします。

※該当しない項目があるときは/を記入してください。  
もし、×があった場合は、飯塚市学校図書館協議会司書部としてきちんと説明責任を果たせるよう、改善するなどの取組をお願いします。

	チェック項目	評価
使用 情報 の 正確性	根拠となる文献・確かな情報(インターネットなど)を元に研究を進めているか。	○
	根拠がたどれない情報源：Youtubeやテレビの一過的な情報等は避けているか。	○
記録 の 正確性	記録用紙に、研究の過程が順を追って正確に記録されているか。	○
	根拠となる考え方をたどれるよう、きちんと記録されているか。	○
	参考にした資料・文献等の記録がわかりやすく記されているか。	○
	実践記録がある場合、わかりやすく整理されているか。	○
研究 の 普遍性	個人の観点・幅広い(もしくは一般的な)観点のどちらも使い、片寄りなく普遍的な研究内容を目指しているか。	○
著作権 への 配慮	2つ以上の情報源を使い、偏りのない研究ができているか。	○
	著作権に配慮し、要約・引用が適切に行われているか。	○
実務 記録の 明確性	インターネットの情報を使っている場合、その情報源はたしかなものか。 また、検索日時等をきちんと記録しているか。	○
	実務(実務)を伴う際は、実務の記録を日付とともに記録用紙に記入しているか。	○
	次の担当者が研究・実務を引き継げるよう、わかりやすく記録を残しているか。	○

#### 令和3年度の成果

- それぞれが自分の課題から、実務と実践に結び付くテーマを選び、取り組むことができた。
- 各自がそれぞれの学校図書館において研究を実践し、まとめ、報告することができた。  
また、班内で共有し、意見交換してより良い研究へと改善していくことができた。
- 班研究2年目ということもあり、研究の形に慣れ、それぞれ昨年度よりも内容を充実させることができた。

#### 令和3年度の課題

- 研究実践において、より強く図書館担当教諭と連携を図っていかなければならない。
- 実際に集まって意見交流などを行い、係や班の枠組みを超えてうまく連携し、より活発な学校図書館の活動を行っていかねばならない。

#### 今後の班研究について

令和3年度の研修では、上記の学習・情報センター班の他にも、読書センター班の中学国語科単元との連携を行うなど、2年間の班研究研修を通して、より実践的なテーマを選び、取り組んでいる。

今後の班研究においては、2年間を通しての課題である、図書館担当教諭との連携や、班や係の枠組みを超えての連携や意見交換を図ること、計画・実践・評価・改善のサイクルを定着させ共有し活用することで、より専門的な研究テーマを試みる必要がある。

各研究の相乗効果による司書の資質向上、研究を活かした実践、合理的な学校図書館運営など、実務に生かせるよう今後も取り組んでいきたいと考える。

【飯塚市学校図書館協議会司書部 研究班を行うにあたっての参考資料】 文部科学省HPより

これからの学校図書館担当職員に求められる役割・職務及びその資質能力の向上方策等について(報告) 平成26年3月

これからの学校図書館の整備充実について(報告) 平成28年10月

学校図書館ガイドライン 平成28年11月

これからの学校図書館の活用の在り方等について(報告) 平成21年3月

子供の読書活動の推進に関する基本的な計画 平成30年4月